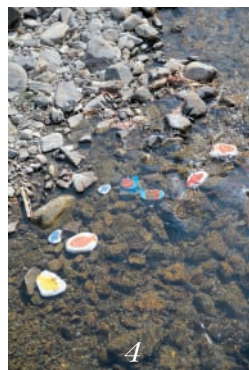




PICK UP  
 四万十街道ひなまつり  
 町並み彩る  
 優雅で可愛い  
 「おひなさま」

商店街の店先、個人宅の庭先  
 橋の欄干や神社へと向かう階段  
 さらには川の中にもまで  
 地元の人たちによる  
 手作りの温かいひなまつり



1「日吉盆栽会」が製作した座敷雛 2園児や小学生らが個性溢れるお雛さまを製作 3橋の欄干に展示されたお雛さま 4川の中にはお雛さまに混ざって魚の絵も 5お店のショーウィンドウを利用した展示。展示方法にもそれぞれの個性が光る 6さまざまなお雛さま 7河原にもお雛さまの姿。思わぬところにも展示されていた 8歴史を感じるお雛さまも展示 9富母里神楽の一場面



6  
 また、下鍵山商店街には「いきいき茶屋」も開設され、ひなまつりを巡る人たちの休憩場所として、お茶

丘や下鍵山の町並みを、お雛さまが華やかに彩りました。  
 期間中の24日には、武左衛門広場にて、鬼北町の伝統芸能である「鬼北文楽」や「富母里神楽」、そして日吉輪の会員による舞踊も披露され、訪れた人たちを楽しませていました。

明星ヶ丘いきいき会が主催する「四万十街道ひなまつり」は3月20日から4月3日までの間、日吉地区で開催され、期間中、明星ヶ丘や下鍵山の町並みを、お雛さまが華やかに彩りました。



り(下鍵山)

▼【鬼北町長賞】橋本悟空(日吉小) ▼【商工会日吉支部長賞】上山泰輝(日吉小) ▼【夢産地社長賞】兵頭周(みどり保育所) ▼【夢産地アイデア賞】川添イマエ(父野川下) ▼【文化協会会長賞】古用美千代(川上) ▼【日吉公民館長賞】山口晃司(日吉中) ▼【明星ヶ丘いきいき会会長賞】長田あいり(下鍵山)

受賞者は次のとおりです。(敬称略)

期間中、「おひなさまコンテスト」も開催され、それぞれが工夫を凝らした手作りのお雛さまが多数応募されました。  
 このひなまつりの見どころとも言える明星草庵に展示された座敷雛。日吉盆栽会の会員らは「毎年同じでは退屈させてしまう。来年は今年とはまた違う座敷雛を作りたい」と来年のひなまつりに向けた意気込みを語っていました。  
 やコーヒーを無償で提供。出迎えてくれた地元の人たちの温かい笑顔と心遣いが、歩き疲れた人たちの心と体を癒していました。